

平成 20 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	学際的研究による顔認知メカニズムの解明	
領域代表者名	柿木 隆介 （生理学研究所・教授）	
研究期間	平成 20 年度～ 24 年度	
<p><b>【科学研究費補助金審査部会における所見】</b></p> <p>本研究領域は、顔認知機能について心理学・医学・工学などの幅広い分野からの統合的な研究をめざすもので、学際的複合の意義が強く、人文・社会系、理工系、生物系のバランスがとれた研究領域となっている。また、近赤外分光法などの脳機能計測技術の進歩により、乳幼児を含めたヒトを対象とした様々な研究が可能になった現在において、タイムリーな研究領域である。研究計画は準備状況を含めてよく練られており、研究目標とする顔認知障害の病態解明やその治療法の開発などは社会的意義が大きいものと判断される。領域代表者の強力なリーダーシップのもと研究領域内での有機的な研究連携が推進され、その研究成果が国内のみならず国際的にも貢献できることを期待する。</p>		